

心豊かな街へ

第24回神奈川県地域社会事業賞

③

腰に金づち、頭にタオルを巻いた「大工マンZ」が小学校にやって来た。昨年10月、横浜建設業青年会のメンバー10人が、横浜市磯子区の市立杉田小学校の2年から6年生の35人とともに家づくり

に挑戦した。図面通りに木材の寸法を計る。印に沿ってのこぎりで切っていく。慣れない金づちを使って部材を組み立て、ようやく一軒家が完成。そのとき、誰もが大工マンになっていった。

「誇らしげな顔が忘れられません」と話すのは

民主党副代表の田中慶秋衆院議員(5区)が代表を務める党支部などが、法人税法違反で摘発された地元企業から、脱税と認定された期間以降昨年までに計1万円の献金があったことが、30日までに政治資金収支報告書から分かった。有罪確定後も献金は続いていたが、田中氏は「詳細が分からず、防ぎようがなかった」と釈明。これまで15年間に受領した計約261万円を全て返還するという。

(報道部) 〓本記3面に

脱税企業が献金261万円

横浜市 横浜建設業青年会

横浜市

必ずすべてを手弁当で賄ってきた。青年会は横浜市内に本店を置く40歳以下の若手経営者47人の集まり。1977年の設立から毎月、経営や建設技術を学ぶ定例会を開催。併せて実施してきた次世代育成事業は昨年度から、企業の社会貢献(CSR)事業に発展させた。



「大工マンZ」として家づくりに挑戦した横浜建設業青年会のメンバーと小学生たち

本物の技術次世代に

河本会長は「建設業の社業は地域に根付いている。私たちの原点を再確認する年にしたい」。若い世代が力を合わせれば、展望は明るいといっている。

(三木 崇)

部は「話せない」としている。(報道部、運動部)

ガス機器大手 価格カルテル

3社に課徴金8億

LPガスをボンベから給湯器やこまろに引く際の圧力調整器など供給機器の販売をめぐり、価格カルテルを結んでいたとして、公正

に、富士工器(名古屋)と伊藤工機(大阪府東大阪市)。公取委は再発防止を求める排除措置命令も出す方針。

矢崎総業(東京)もカルテルに加わっていたと認定されたが、公取委の検査前に違反を自主申告し、命令を免れる。



要請書では、自然環境の保全に配慮し、計画案で示されている緑地の改変面積の縮小に向けた工夫を求めているほか、工事の具体的な計画や周辺への影響を地

緑地改変面積 縮小など要望

池子住宅で横浜市

米軍池子住宅地区(横浜市金沢区、逗子市)の横浜市域への住宅追加建設で、横浜市の小松崎副市長は30日、防衛省南関東防衛局を訪れ、改変面積の縮小や、基本計画案が示されている385戸以外には市域に住宅を今後建設しないよう求める要請書を山本達夫局長に手渡した。

県内の交通事故

件数 120

各地で観測された最大放射線量 11月29日午前9時~30日午前9時(文科省集計)

0.032マイクロシーベルト/時 岩手 太平洋

域住民らに望。深谷信施設など、小松崎「米軍住宅」改変面積「など」は「要請計画案に。交通の影響を努力した